

1. 各地のストライキ

縫製業に携わる労働者のストライキが、昨今、目に着く。工場のゲートに集結した労働者もいれば、社会問題相までデモ行進を行った労働者もあり、彼らは賃上げや、首になった組合代表の復職などを要求している。

- ・プノンペンの Meanchey 地区にある Hai Yon 工場で働く 100 人以上の労働者が、市内の中心部で要求を訴え、ストライキをしているとカンボジアアパレル労働者民主組合連盟(C.CAWDU)の役員 Sieng Yot 氏は話す。「労働側は5つの要求項目を示しており、5月に解雇した3人の組合役員と6人の労働者を復職させることや、交通費と家賃に15ドル支払うことなどを求めています」と彼は話す。
- ・プノンペンの Dangkor 地区では、「Golden Gain シューズカンパニーで働くおよそ 1000 人の労働者が、2日間のストライキを行った」、と C.CAWDU 役員の Ney Buntoeun 氏は話した。彼らは1日3食の無料提供や、子供のいる母親に月20ドルの支払い、他にも各種ボーナスを要求しているという。
- ・プノンペンでは、Golden Gain Shoe Company にて 1,000 名規模のストライキが発生し、「労働者はパレードを国道4号線からプノンペン国際空港前までするかもしれません。しかし、まだ我々は労働者に落ち着く様に、工場からの回答、解決案を待つ様に指示しています」と C.CAWDU 職員 San Sopha が話した。
- ・Kandal 州 Ang Snuol 地区にある Master & Frank 社では、100 人以上の労働者が工場周辺においてストライキ活動を行い、the Coalition of Cambodian Apparel Workers' Democratic Union(C.CAWDU)のメンバーであり、解雇された職場リーダーの復職を要求した。
- ・Kandal 州 Ang Snuol 地区の Sun Best 縫製工場は、約 1000 人の労働者による、交通費と家賃を求めたストライキが3日目に突入している。

2. 7/17、Tai Yang 社が社名変更について反論

労働者への年功課金の支払いを避けるため、Ang Snuol 地区にある Tai Yang Enterprises 社が 2010 年内密に会社の社名を Tai Nan 社へ変更したと、労働者たちは訴えている。労働者たちは、100ドルに加えて年俸加棒が月15ドルある。会社側は社名を変更することによって、この年俸加棒を逃れようとしている、と労働者は訴えている。

経営者の Wu Minghuor 氏は、「会社名の変更は一切起こっておらず、労働者が組合プロパガンダの犠牲になっているだけだ」、と社内で説明をした。「我々は社名を変更したことはないし、工場を売ったこともありません」と彼は話し、「同じオーナーの工場が3つありあす。まず1つめは Tai Yang I と II、すぐ隣の Camwell Manufacturing、そして最近建てた Tai Nan です」と付け加えた。3つの工場全ての経営を行っている Minghuor 氏が保持する、商務省より発行され Kem Sythorn 国務長官のサインがある書類によると、Tai Nan 社の社名は 2010 年 11 月に登録された、と書いてある。しかし Minghuor 氏は、「労働者全員が年俸加棒を払われているかどうかは確認していない」、と言う。

労働者がストライキを始めて以来、警察と衝突したり、組合リーダーの甥が顔を負傷し出血したりと事件が続いているので、労働者たちは、裁判所と仲裁審議会によって出された仕事復帰の命令を無視している。Minghuor 氏は、「現在ほとんどすべての労働者が工場での仕事を再開しており、人がいないところには夜間労働者があてがわれている。この間、会社側はストライキにより1日10000ドルの損失を被った」、と話している。

ストライキの参加者は、もともと家賃や交通費、業績手当や育児手当を要求していた。しかし先週の政府の発表では、この9月から縫製労働者は月に7ドルが家賃もしくは交通費として支給され、また、1ヶ月休みなく働いたものには3ドルの支給がある、ということになっており、これにより労働側はもとの要求をすでに取り下げている。Minghuor 氏によると、工場は家賃と交通費にすでに月10ドルを支払っており、また、11ドルの皆勤手当でも同じく支給しているという。

Chhorvorn さんと彼女の姉妹、そして友人達は、年俸加棒を求めて闘い続けるとしている。なぜなら彼女たちは、政府が賃金上昇を認めたことによって、家賃が上がることを危惧しているからだという。

2. 7/19、Tai Yang and Camwell factories のストライキ、解決の糸口見えず

Tai Yang 工場と Camwell 工場において、何週間にもわたり繰り広げられたストライキを終結させるための交渉は決裂に終わり、労働者側がまた新たな大規模デモ行進を行うのではといった心配だけが残った。the Cambodian Alliance of Trade Unions (カンボジア労働組合連盟代表) Yang Sophorn 氏の述べたところでは、労働者の要求している1年あたりの年功加棒がもともと170ドルであったにも関わらず、工場は年70ドル以上の支払いには応じなかった。「もし土曜日まで何も変わらないようなら、私達はフン・セン首相のもとまでデモ行進を行い、彼に助けを求めようと思います」と彼女

は話した。経営者の Wu Minghuor 氏は、交渉は不調に終わったとしている。GMAC (カンボジア縫製業協会) の事務局長 Ken Loo 氏は、労働者の要求は理不尽であると話す。「彼らは法を無視しています」と述べた。

3. 7/23、Tai Yang and Camwell factories のストライキ中の労働者が米大使館へ陳情

6月25日にストライキを始めた4000人の労働者のうち、いままストライキを続行している150人の労働者は、工場の主なバイヤーであるアメリカ人にアピールするため、アメリカ大使館に請願書を届けた。労働者たちは、the Cambodian Confederation of Unions(CCU)の代表と共に、プノンペンアメリカ大使館へ提言書を届け、Tai Yang Enterprisesにて作られた衣類をボイコットするよう訴えかけた。CCUの代表 Rong Chhun 氏は「我々は全てのアメリカ人に Tai Yang 系列3社の商品、衣類の購入をストップして欲しい。アメリカ政府も黙ってはいないでしょうし、工場側へもなんらかのプレッシャーをかけてくれるでしょう」と話した。

労働者たちは年170USドルの年功加棒を要求しており、彼らによると Tai Yang 工場が2010年に、こういった手当での支払いを逃れるために名前を勝手に変更した、としている。労働者は今日大使館周辺に集合し、問題が解決するまではストライキを続ける」、Cambodian Confederation of Unions の代表 Chhun 氏はプノンペン市役所にて話している。

Tai Yang and Camwell 工場を経営する Tai Yang Enterprises のマネージャーである Wu Minghuor 氏は火曜日、「労働者との交渉はすでに終わった」、と話した。他の2つの工場からストライキに参加している労働者は、自分達の要求が承認されたことによって今日仕事にもどったが、一方で他の2つの工場の労働者はまだボーナスを求めて要求を叫び続けている。

労務省外務大臣 Sath Samuth 氏は、「労働諮問委員会がすでに縫製・履物製造に携わる労働者の賃金を全国的に10ドル上げているのだから、労働者にさらなる手当を要求する権利はない」、と話している。

4. 7/25、Tai Yang and Camwell factories1 と Golden Gain Shoe company の労働者たちがデモ行進。警官と衝突。



the Cambodian Confederation of Unions(CCU)代表の Rong Chhun 氏は、「国道4号線付近に終結した労働者に対し、60人程度の警察官がデモ行進を阻止しようとし、11人が負傷した」と話した。そして「労働者には国道沿いに立つ権利があります。警察官は暴力ではなく、そこに立って欲しくないと言う意思表示をすべきでした」と付け加えた。

Kandal州の警察署長 Eav Chamroeun 氏は、「警察官は労働者に対して攻撃は仕掛けておらず、暴力はふるっていない」、と述べた。また「我々は集まった人々に対して、そこでストライキをしないで欲しいとお願いをしたが、彼らは聞き入れてはくれなかった。もし Chhun 氏が法律を尊重しないのであれば、我々は彼を逮捕します」とも話した。

一方、プノンペンの Golden Gain Shoe Company 社では1,000人以上の労働者が労務省までデモ行進を実施した後、仕事に戻った。会社側は労働者の17の要求の内、13を同意したと情報筋は伝えている。

5. 7/30、Tai Yang and Camwell 縫製工場の経営者を GMAC が擁護

GMAC は Kandal 州の Tai Yang and Camwell garment factories でのストライキ行為は、嘘や労働組合による違法行為であるという認識を示した。GMAC の Ken Loo 事務局長は、「Tai Yang 社は2010年に Tai Nan 社へと名前は変えられておらず、政府と GMAC はそれを証明できた」、と言及した。また「Tai Yang と Camwell and Tai Nan は GMAC のメンバーであり、今日もメンバーの一員です」との声明文を出した。Loo 事務局長は the Cambodian Confederation of Unions(CCU)は「全ての政府系組織に認識されていない集団」と述べ、労働者を間違った操り方をしていると話した。CCU の Chhun 代表は「工場は名前を変更しており、我々はストライキを続ける」とだけ話した。

6. 縫製工場での怪我発生率が上昇

労務省役員の話すところによると、2011年に報告されたレポートでは工場における怪我の発生率が65パーセント上昇している。労働者の失神も数値上昇の一因となっている。

仕事場において、去年、合計で47人が死亡し1万2千人以上が負傷したことを受け、「労務省は、職業安全の専門委員会を導入する予定でいる」と職業安全保健局局長 Leng Tong 氏が述べた。Tong 氏は、「多く発生している職場での怪我に関して内訳を提供することはできないが、失神や、通勤途中での労働者の交通事故などが増えた」と話す。Tong 氏は、「マレーシアから職員を招いており、再来週までに50人の労働側代表に訓練を施す予定である。また政府はなるべく早く、安全保健委員会を組織する予定です」と述べた。

労務省は事故多発への対策として、工場側に、「カンボジア工場改善プログラムとして、なにか1つでもアクションをとることを縫製工場に働きかけるワンチェンジキャンペーン」を呼びかけた。このキャンペーンでは推奨させる項目をリスト化し、工場がそのうち最低1つ選んで実行することを勧めている。この項目の中には、監督者に応急処置の仕方をトレーニングすることや、助成金による食事、小休憩を提供すること、無記名での苦情受けシステムを導入すること、労働者の通勤手段の改善などが含まれている。このキャンペーンはまた、労働法により制定されているものの実行されていない、綺麗な水やトイレの石鹸、適切な衛生用品の提供も勧めている。カンボジア工場改善プログラムの技術顧問 Jill Tucker 氏は、「これらの推奨項目は、栄養不足による失神などを防ぐために考案されている」と話している。

7. 日系企業がカンボジア人の技術人材不足に直面



日本の企業がカンボジア人の熟練した技術人材不足に直面しており、日系電子部品関連の投資、進出に影響を及ぼしている。またアジア開発銀行もこの4月に熟練した技術人材難がカンボジアの経済発展に影を落とすと警鐘を鳴らしていた。現在、20,000～30,000人の訓練された人材が日系企業には必要と言われているものの、現在対応できているのは10,000人程度であると日本人商工会事務局長の道法氏は話した。

2011年の暮れ、日系企業の登記は86社だったのに対し、この半期だけで68社の登記があったと同氏は述べ、「日本の企業は、カンボジアの従業員に対して大学卒業などには固執しません。しかし、必要なスキルを身につけた従業員を欲しています」とも述べた。

ココン経済特区のワイヤーハーネスの大手、矢崎総業の担当者は、「製品は主にタイへ輸出しているが、現在、従業員は500人規模であり、向こう3年で3,000人に増やす予定である」と話している。「タイでは人件費が高騰し、いくつかの企業はカンボジアに活路を見いだしている」とも述べた。

8. プノンペンにて銃による殺人発生

7/19、男性が警察官からライフルを強奪後、発砲し、6人が死傷(1名が死亡し、5名が負傷)するという事件が Sovanna ショッピングモール近くの271通りで発生した。そして犯人は後に自ら命を絶った。

警察官の駐在所から約50メートルの場所で、その男は、当初ひったくりと思い、抵抗を示した Nhoung Heng さん(58)に発砲した。また彼女の息子によると、娘が Nhoung Heng さんの助けの為に駆け寄ったが、彼女も撃たれたのだと言う。また別の発砲の音を聞き、Sae さんは身を起し、そこで死んで道に横たわっている男性を見たと言う。

管轄地区の警察所長 Mey Bunrin 氏は発砲した男を Su Vuthy(33)と断定し、Prey Sar 刑務所で警備係として働いていたとしている。彼の明確な動機は謎のままとなっている。Prey Sar 刑務所の所長は「彼に何が起こったのかわかりません。なぜなら、彼は1ヶ月の休暇を取得していたのです。彼は家族の問題を解決する必要があるとは言っていました」と述べた。

また翌20日には更に1名命を落とし、死者は犯人を含めて3名となった。